

目黒区文化ホール及び目黒区美術館
指定管理者選定評価結果報告書

令和5年9月

目黒区文化ホール及び目黒区美術館
指定管理者選定評価委員会

1 指定管理者候補者の選定のための評価基準の策定等に関すること

○目黒区文化ホール

【一次評価（書類審査）の評価項目】

1 令和元年～4年度の指定管理に係る目黒区文化ホールの事業実績評価項目

I	サービスの実施に関する事項	配点
1	令和元年度から4年度までの事業実績に対する 運営評価委員会での評価点からみる評価	10
2	令和元年度から4年度までの事業実績に対する 運営評価委員会での指摘事項への改善策に係る評価	10
II	地域の芸術文化振興に関する事項	
1	同上	10
2	同上	10
III	経営能力等に関する事項	
1	同上	10
2	同上	10
IV	管理運営経費の効率化に関する事項	
1	同上	10
2	同上	10
V	総評	
1	同上	20
2	同上	20

2 令和6年～10年度の指定管理に係る目黒区文化ホール事業計画評価項目

I	サービスの実施に関する事項	配点
1	管理運営の基本方針	20
2	指定管理業務に関する理解	20
3	利用率向上・平等な利用に関する提案	10
4	施設利用者・来館者の満足度向上の提案	10
5	施設・事業の周知に対する提案	20
6	トラブル・苦情対応	10
II	地域の芸術文化振興に関する事項	
1	芸術文化振興の基本方針	20
2	幅広い対象者に向けた芸術文化事業の提供	10
3	芸術文化事業（地域との連携含む）	20

III 経営能力等に関する事項		
1	施設・附帯設備・物品の維持管理	10
2	危機管理・安全対策	20
3	管理運営体制・人材確保への取組	10
4	個人情報保護・情報公開への取組	10
5	研修体制	10
IV 管理運営の効率化に関する事項		
1	収支計画（指定管理料の妥当性）	10
2	経費の効率化に向けた取組	20
3	利益還元の方法	10
V 提案に関する事項		
1	新たな提案	20
VI 団体評価		
1	経営に関する評価	20

【二次評価（面接・プレゼンテーション審査）の評価項目】

I	指定管理者制度及び目黒区文化ホールに対する理解と、取り組みの姿勢	配点
1	施設の管理運営及び事業について明確かつ適切なビジョンを有しているか。	50
2	委員からの質疑に対する回答が的確であったか。	50
II	指定管理業務遂行に対する意識	
1	指定管理者になることについて意欲、熱意が感じられたか。	50
2	書類審査の結果及びプレゼンテーション、ヒアリングの質疑を通じて判断し、指定管理者としてふさわしいか。	50

○目黒区美術館

【一次評価（書類審査）の評価項目】

1 令和元年～4年度の指定管理に係る目黒区美術館の事業実績評価項目

I	サービスの実施に関する事項	配点
1	令和元年度から4年度までの事業実績に対する運営評価委員会での評価点からみる評価	10
2	令和元年度から4年度までの事業実績に対する運営評価委員会での指摘事項への改善策に係る評価	10
II	地域の芸術文化振興に関する事項	
1	同上	10
2	同上	10
III	経営能力等に関する事項	
1	同上	10
2	同上	10
IV	管理運営経費の効率化に関する事項	
1	同上	10
2	同上	10
V	総評	
1	同上	20
2	同上	20

2 令和6年～10年度の指定管理に係る目黒区美術館事業計画評価項目

I	サービスの実施に関する事項	配点
1	管理運営の基本方針	20
2	指定管理業務に関する理解	20
3	利用率向上・平等な利用に関する提案（区民ギャラリー）	10
4	施設利用者・来館者の満足度向上の提案	10
5	施設・事業の周知に対する提案	20
6	トラブル・苦情対応	10
II	地域の芸術文化振興に関する事項	
1	芸術文化振興の基本方針	20
2	幅広い対象者に向けた芸術文化事業の提供	10
3	区民の芸術文化活動支援への取組	20

III 経営能力等に関する事項		
1	施設・附帯設備・物品の維持管理	10
2	危機管理・安全対策	20
3	管理運営体制・人材確保への取組	10
4	個人情報保護・情報公開への取組	10
5	研修体制	10
IV 管理運営の効率化に関する事項		
1	収支計画（指定管理料の妥当性）	10
2	経費の効率化に向けた取組	20
3	利益還元のか考え方	10
V 提案に関する事項		
1	新たな提案	20
VI 団体評価		
1	経営に関する評価	20

【二次評価（面接・プレゼンテーション審査）の評価項目】

I	指定管理者制度及び目黒区美術館に対する理解と、取り組みの姿勢	配点
1	施設の管理運営及び事業について明確かつ適切なビジョンを有しているか。	50
2	委員からの質疑に対する回答が的確であったか。	50
II	指定管理業務遂行に対する意識	
1	指定管理者になることについて意欲、熱意が感じられたか。	50
2	書類審査の結果及びプレゼンテーション、ヒアリングの質疑を通じて判断し、指定管理者としてふさわしいか。	50

2 指定管理者候補者から提出される事業計画等の評価及び候補者の選定に関する こと

1 評価の概要

目黒区文化ホール及び目黒区美術館について、令和6年度から指定管理者として指定する指定管理者候補者について、これまでの事業実績や次期の事業計画等について総括的な評価を行った。

(1) 評価の経過

令和5年6月21日	(第1回選定評価委員会) 目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者候補者の選定にあたり、評価基準、項目及び配点、一次評価及び二次評価の評価方法を審議し決定した。
8月22日	(第2回選定評価委員会) 二次評価の手順を確認し、面接及びプレゼンテーションによる評価を実施した。
9月19日	評価及び報告書の確定を書面で行った後、指定管理者候補者の選定評価結果を区長あて報告する。

2 評価のための基準

評価にあたっては、公平・公正な立場で「住民サービスの向上」と「経費の効率的な活用」を総合的に判断するため、評価基準を作成した。

3 評価の方法

選定評価委員会で事業実績及び事業計画の評価項目、評価視点、配点を定め、点数評価により算出された得点をもとに、指定管理者候補者を評価した。

(1) 第一次評価（書類審査）

指定管理者候補者からの提出書類により、「サービスの実施に関する事項」、「地域の芸術文化振興に関する事項」、「経営能力に関する事項」、「管理運営の効率化に関する事項」（事業計画の評価については「提案に関する事項」と団体評価として「経営に関する評価」を含む）について書類審査を行い、各委員が評価基準に基づき評価した。

(2) 第二次評価（面接・プレゼンテーション審査）

指定管理者候補者出席のもと、候補者からのプレゼンテーション及び質疑応答を行い、各委員が評価基準に基づき評価した。

4 判定基準

(1) 評価項目ごとの点数評価

9, 10＝十分水準を超えている 7, 8＝水準を超えている 5, 6＝水準に達している
3, 4＝水準に達していない 1, 2＝かなり水準を下回っている

(2) 総得点に対する総合評価

すべての項目の評価点が5点であった場合の評価総得点である300点(満点は600点)を最低評価点数とする。これより低い評価総得点の場合は不適切な運営管理実績や事業計画があると認められることから、抜本的な改善措置を講じる必要があるか、指定管理が困難な状況であると評価する。

(3) 総合評価に対する基準

- 301点～400点 水準に達している
- 401点～500点 水準を超えている
- 501点～600点 十分水準を超えている

5 評価結果

選定評価委員会における、指定管理者候補者の一次評価及び二次評価の結果は以下のとおりとなった。

については、指定管理者制度実施方針で定めた選定方法である「公募の特例」を適用し、平成31年度から令和5年度までの現指定管理者である公益財団法人目黒区芸術文化振興財団を令和6年度から10年度までの次期指定管理者とすることは適当であると認められる。

対象施設	一次評価 (400点満点)	二次評価 (200点満点)	総得点 (600点満点)
目黒区文化ホール	313.2点	155.0点	468.2点
目黒区美術館	315.2点	161.0点	476.2点

6 評価の詳細

○目黒区文化ホール

【一次評価（書類審査）の評価項目】

1 令和元年～4年度の指定管理に係る目黒区文化ホールの事業実績評価項目	配点	評価
I サービスの実施に関する事項		
1 令和元年度から4年度までの事業実績に対する運営評価委員会での評価点からみる評価	10	8.2
2 令和元年度から4年度までの事業実績に対する運営評価委員会での指摘事項への改善策に係る評価	10	8.2
II 地域の芸術文化振興に関する事項		
1 同上	10	8.2
2 同上	10	8.2
III 経営能力等に関する事項		
1 同上	10	7.4
2 同上	10	7.6
IV 管理運営経費の効率化に関する事項		
1 同上	10	7.4
2 同上	10	7.6
V 総評		
1 同上	20	16
2 同上	20	16

2 令和6年～10年度の指定管理に係る目黒区文化ホール事業計画評価項目	配点	評価
I サービスの実施に関する事項		
1 管理運営の基本方針	20	16
2 指定管理業務に関する理解	20	16.4
3 利用率向上・平等な利用に関する提案	10	7.8
4 施設利用者・来館者の満足度向上の提案	10	8
5 施設・事業の周知に対する提案	20	14.8
6 トラブル・苦情対応	10	7.2
II 地域の芸術文化振興に関する事項		
1 芸術文化振興の基本方針	20	16.8
2 幅広い対象者に向けた芸術文化事業の提供	10	8
3 芸術文化事業（地域との連携含む）	20	16.8
III 経営能力等に関する事項		
1 施設・附帯設備・物品の維持管理	10	7.2
2 危機管理・安全対策	20	15.6
3 管理運営体制・人材確保への取組	10	7.2
4 個人情報保護・情報公開への取組	10	7
5 研修体制	10	7

IV 管理運営の効率化に関する事項			
	1 収支計画（指定管理料の妥当性）	10	7.6
	2 経費の効率化に向けた取組	20	14.8
	3 利益還元の考え方	10	7.4
V 提案に関する事項			
	1 新たな提案	20	16.4
VI 団体評価			
	1 経営に関する評価	20	16.4
一 次 評 価		400	313.2

【二次評価（面接・プレゼンテーション審査）の評価項目】		配点	評価
I 指定管理者制度及び目黒区文化ホールに対する理解と、取り組みの姿勢			
	1 施設の管理運営及び事業について明確かつ適切なビジョンを有しているか。	50	40
	2 委員からの質疑に対する回答が的確であったか。	50	38
II 指定管理業務遂行に対する意識			
	1 指定管理者になることについて意欲、熱意が感じられたか。	50	37
	2 書類審査の結果及びプレゼンテーション、ヒアリングの質疑を通じて判断し、指定管理者としてふさわしいか。	50	40
二 次 評 価		200	155.0
総 合 得 点		600	468.2

<p>芸文財団が目黒区文化ホールの次期指定管理期間の管理運営を行うに当たっての評価点または留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの実績や経験を踏まえ、予算の制約の中、工夫を凝らした活動内容、広報宣伝方策、地域連携等の提案はいずれも高く評価できる。また、安定的な運営が期待でき、安心して指定管理を任せられることができると思われる。令和8年度以降の改修による長期休館の状況が不明であるが、令和9年が開館25周年にあたることから、ホールの存在感を示せるような事業展開を期待したい。（休館中に地域の施設との連携で再開後に向けた潜在的な観客を掘り起こすことも可能である。） ・運営方針や理念は区立ホールにふさわしく、近年公立ホールに求められる様々な役割を網羅したものとなっており、経営面での努力も感じられる。その一方で、それらを実現するための事業や周知方法、効率化の方法等にやや具体性が欠けているようにも思われる。また、カバーする領域が広いがために、ホールの特色が見えづらいようにも感じた。現場が疲弊しないよう、無理なく計画的に、目黒区らしいホール運営されることを期待する。 ・利用率向上と平等な利用について努めてほしい。 ・新たな提案については、積極的に取り組み、成果を上げてもらいたい。 ・現状維持で頑張ってもらいたい。

○目黒区美術館

【一次評価（書類審査）の評価項目】

1 令和元年～4年度の指定管理に係る目黒区美術館の事業実績評価項目		配点	評価
Ⅰ サービスの実施に関する事項			
1	令和元年度から4年度までの事業実績に対する 運営評価委員会での評価点からみる評価	10	8.2
2	令和元年度から4年度までの事業実績に対する 運営評価委員会での指摘事項への改善策に係る評価	10	7.8
Ⅱ 地域の芸術文化振興に関する事項			
1	同上	10	8.2
2	同上	10	8
Ⅲ 経営能力等に関する事項			
1	同上	10	7.4
2	同上	10	7.6
Ⅳ 管理運営経費の効率化に関する事項			
1	同上	10	8
2	同上	10	8
Ⅴ 総評			
1	同上	20	16.4
2	同上	20	16

2 令和6年～10年度の指定管理に係る目黒区美術館事業計画評価項目		配点	評価
Ⅰ サービスの実施に関する事項			
1	管理運営の基本方針	20	16.8
2	指定管理業務に関する理解	20	16.4
3	利用率向上・平等な利用に関する提案（区民ギャラリー）	10	7.8
4	施設利用者・来館者の満足度向上の提案	10	7.6
5	施設・事業の周知に対する提案	20	15.6
6	トラブル・苦情対応	10	7.4
Ⅱ 地域の芸術文化振興に関する事項			
1	芸術文化振興の基本方針	20	16
2	幅広い対象者に向けた芸術文化事業の提供	10	8
3	区民の芸術文化活動支援への取組	20	16.4
Ⅲ 経営能力等に関する事項			
1	施設・附帯設備・物品の維持管理	10	7.2
2	危機管理・安全対策	20	15.6
3	管理運営体制・人材確保への取組	10	7.4
4	個人情報保護・情報公開への取組	10	7.4
5	研修体制	10	7

IV 管理運営の効率化に関する事項			
	1 収支計画（指定管理料の妥当性）	10	7.6
	2 経費の効率化に向けた取組	20	15.6
	3 利益還元の考え方	10	7.4
V 提案に関する事項			
	1 新たな提案	20	16
VI 団体評価			
	1 経営に関する評価	20	16.4
一 次 評 価		400	315.2

【二次評価（面接・プレゼンテーション審査）の評価項目】		配点	評価
I 指定管理者制度及び目黒区美術館に対する理解と、取り組みの姿勢			
	1 施設の管理運営及び事業について明確かつ適切なビジョンを有しているか。	50	40
	2 委員からの質疑に対する回答が的確であったか。	50	40
II 指定管理業務遂行に対する意識			
	1 指定管理者になることについて意欲、熱意が感じられたか。	50	40
	2 書類審査の結果及びプレゼンテーション、ヒアリングの質疑を通じて判断し、指定管理者としてふさわしいか。	50	41
二 次 評 価		200	161.0
総 合 得 点		600	476.2

<p>芸文財団が目黒区美術館の次期指定管理期間の管理運営を行うに当たっての評価点または留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算に制約がある中、様々な活動をこれまで工夫を凝らしながら展開してきたこと、特に教育普及プログラムは全国的に高く評価されており、今後も継続されとのことで、安心した。しかし、利用率も既に高く、物価高騰も続く状況が予想され、利用料金の確保が重要との認識だが、展覧会費用の捻出もできない（例年赤字）状況は憂慮される。目黒区民センターの活動内容等が不透明な中、「新たな美術館」の活動にどうつなげるのか、特に区民無料化を進めるのであれば、区からの支援も必要と思われる。 ・ 施設の老朽化もある中で、非常に丁寧に管理運営をされており、その実績に基づいた適切な計画がなされていると感じた。また、プレゼンテーションでは、実際に仕事をされている職員の皆様の熱意と美術館に対する愛情を感じた。限られた予算の中、様々な制約があると思うが、引き続き質の高い管理運営を期待する。 ・ 美術館の認知度向上と、観覧料の区民無料化を進めてほしい。 ・ 新たな提案については、積極的に取り組み、成果を上げたもらいたい。 ・ 現状維持で頑張ってもらいたい。

3 目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者選定評価委員会委員名簿

氏名	所属	専門分野・経歴等
1 学識経験者		
委員長 かきうち えみこ 垣内 恵美子	政策研究大学院 大学名誉教授	【専門分野】 文化政策 【経歴】 ・茨城県文化審議会委員長 ・川崎市文化芸術振興会議委員長 ・新宿区文化振興会議副会長 ・(一財) 地域創造理事 ・国土審議会委員 ・(独) 国立美術館運営委員 ・(独) 国立新美術館評議員 ・各地の文化施設指定管理者選定委員等 ・目黒区芸術文化振興計画改定懇話会副座長 (平成26年8月から28年3月まで) ・目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者選定評価委員会委員長
副委員長 なかがわ あゆみ 中川 歩美	一般社団法人 芸術と創造研究員	【経歴】 ・元アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)調査員 ・元港区文化芸術活動サポート事業評価員 ・元目黒区芸術文化振興計画改定懇話会委員 ・目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者選定評価委員会副委員長
2 経営に関する有識者		
もとはし ひろし 本橋 浩		【資格】 税理士
3 区民		
たなか たもつ 田中 保	田道住区住民会議代表	
きたざわ なおみ 北澤 尚文	八雲住区住民会議会長	

以 上